

## 「和開開拓二十周年記念碑」

### 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町

青森県の西部に位置する西津軽郡<sup>あじがさわまち</sup>鱒ヶ沢町は南北に細長く、北は日本海に面し、南は白神山地で秋田県に接している。町の北東部の岩木山麓一帯には、明治時代、陸軍の大規模な「山田野演習場」が設けられた。終戦後、その跡地を中心に緊急開拓地として払い下げられ、開拓者が入植した。

広大な開拓地に7つの開拓農協が設立された（「戦後の開拓年表」青森県、1965年発刊）。45（昭和20）年から64年にかけて、復員軍人や引揚者、地元の二男・三男等300名余りが入植。だが、農耕地としては厳しい土地条件だった。入植者は試行錯誤を重ね、土地条件に合った作物を採り入れることにより、経営の安定化を図った。

現在、同町は5つの地区に分かれている。開拓地は鳴沢地区と中村地区にあり、5地区の中では田や畑、リンゴなどの果樹園の面積が広い。

鳴沢地区建石町の鳴沢小学校山田野分校跡地に、02年に設置された記念碑がある。碑文から同分校の閉校記念碑と分かる。入植者が多かった山田野開拓地内に立地し、碑銘は「拓魂」となっている。

中村地区長平町の「和開<sup>わかい</sup>婦人ホーム」の敷地には、二基の記念碑が並んで建っている（写真）。左は、70年に建立されたもので、碑銘は「和開開拓二十周年記念碑 婦人ホーム落成記念」。下部の銘板には、まず、「和開開拓農業協同組合」とあり、続いて、組合長以下17名の氏名が記されている。右は02年に建立されたもので、碑銘は「昭和二十七年四月入植開拓五十周年記念碑」。裏面には、町内会長以下12名の氏名が刻まれている。

なお、婦人ホームは60年度から75年度にかけて、入植者の保健衛生、乳幼児の保育、営農及び生活改善等の勉強の場として、国や県の補助金により、各地に設けられた。和開婦人ホームは現在、地区内の集会所となっている。

## 「和開開拓二十周年記念碑」

- ①調査日 2019年7月24日
- ②所在 西津軽郡鯨ヶ沢町長平町
- ③地区の沿革 昭和27年に山田野演習場跡地が解放され、17名が入植した。
- ④設置年月日 (ア) 昭和45年6月25日 (イ) 平成14年11月吉日
- ⑤設置者 (ア) 和開開拓農業協同組合 (イ) 町内会
- ⑥碑名 (ア) 和開開拓二十周年記念碑 (イ) 開拓五十周年記念碑
- ⑦碑文(表面) (ア) 和開開拓二十周年記念碑 婦人ホーム落成記念  
(イ) 昭和二十七年四月入植 開拓五十周年記念碑 平成十四年十一月吉日
- ⑧碑文(裏面) (ア) 和開開拓農業協同組合 組合長以下17個人名 昭和四十五年六月廿五日  
(イ) 町内会長以下17個人名
- ⑨現在の状況 地区内の集会所(婦人ホーム)敷地内に立地し管理されている。





町内会長

工藤 平内

監事

中村 平治

会 計

竹越 恵蔵

井上 由雄

中村 興一郎

工藤 国雄

中村 義一

中村 光男

中村 滝義

山谷 規雄

山谷 規雄

工藤 介右衛門